

# 指定管理業務実績報告書

令和2年 月 日

神奈川県知事 殿

株式会社湘南なぎさパーク  
代表取締役社長 水田 豊人

湘南港の管理に関する基本協定書第41条第2項の規定に基づき、次のとおり令和元年度（平成31年度）に係る指定管理業務実績報告書を提出します。

## 記

### 1 湘南港事業実績報告書

#### (1) 業務の運営に係る総括

2020年のオリンピックの前哨戦ともいえるREADY STEDY TOKYOの開催及び昨年度に引き続き開催されたセーリングワールドカップ江の島大会（WCS）の大規模国際大会にあたり、県の担当部課やオリンピック組織委員会、WCS実行委員会と協議を重ね、大会の円滑な実施及び湘南港の既存利用者の不安や不便を取り除くべく、指定管理者としてこれまでの実績と経験を活かし努めました。また、1月からのオリンピック開催に向けた既存艇の島外移動及びこれに係る関係業務についても、工夫を重ねながら準備し、県の担当部課と連携して対応いたしました。通常期においても、指定管理業務を適切に実施するため、より一層のサービス向上と経費節減に努め、提案書に掲げた基本理念である「海と安全に親しめる美しい湘南港」の実現を目指しました。

#### ア 組織体制

5月～9月の繁忙期に臨時職員を配置するなど、港湾業務の安全な運営に十分配慮して、指定管理業務を推進しました。

#### イ 内部管理体制

- ① 施設利用申請における申請書の内容、貼付証紙等について、常に複数者によるチェックを行うとともに、現金については業務終了時の他、取扱い金額・件数の多い土日祝祭日には中間に1～2回、レジスター内に収納した現金の確認を行い、証紙についても業務終了時に必ず在庫確認を行い、事故防止に努めています。
- ② ローテーションによる勤務体制から生じる情報伝達、引き継ぎ事項の齟齬がないよう、毎朝始業時に合わせ管理部で共通に認識すべき事項の伝達、引継ぎを行うと共に、各種相談業務や施設の巡視・巡回、環境整備等の実施に当たっては、管理、ポートサービス担当のセクションに捉われることなく、職員が一体的認識をもって業務を推進しています。

## ウ 職員研修

管理業務、ポートサービス業務共に、業務上必要な技術習得のための免許取得の支援を行うとともに、社員全員が「障がい者理解促進研修」を受講し、利用者対応に役立っています。また、WCS 参加者等外国人利用者対応では、日常業務を実践しながら、英会話のオンジョブトレーニングを行っています。

## エ 業務合理化等

より質の高い指定管理業務の推進をめざして、業務の合理化、経費の削減を図りました。また、READY STEDY TOKYO や WCS 等の国際大会の開催に伴い来港された外国人の需要に応えるため、クレジットカード決済サービスを実施いたしました。

## (2) ヨットハーバー業務に係る総括

### ア 利用承認業務

- ① 最も重要かつ基本的な業務であることから、利用承認申請書の内容チェック、証紙確認等は複数の眼で行うなど、遺漏のないように事務を執行しています。
- ② 利用承認期限が満了となる利用者に更新の案内を行うとともに、承認期限を経過しても更新手続きが未了の者に対しては速やかに催告、通知を行い、適正な利用が行われるよう努めています。
- ③ 学生団体の利用料減免申請にあたっては、所定の手続きを適切に行い、ルールを遵守するよう指導しています。

### イ 安全管理等サービス業務

電子カードによる「出艇管理システム」、臨時利用者の出港届及び帰着確認で施設利用者の安全確保を行っています。

## (3) 維持管理業務に関する総括

### ア 施設維持管理業務

- ① ヨットハウスについては、2 階ホール等の床面が滑り防止構造（粗め加工床材）であることから、汚れが浸み込んでとれないこと、シャワー・ロッカー室の水はけ・換気が悪いこと、シャワー利用の公平性や手続の煩雑さを解消するためコインシャワーの設置が必要であること、雨の日には屋根に降った雨水が出入り口近くに滝のように落ちるなどの様々な課題があり、県に度々状況を報告するなど繰り返し改修を要望していましたが、今年度、藤沢土木事務所の改修工事により床面や雨水の問題等については、解消いたしました。
- ② 今年度 8 月から新たに管理することとなった江の島セーリングセンターは、相次ぐ雨漏りが課題となっており、特に降雨があった翌日は館内を注視し、県担当者へ速やかに情報報告をしています。
- ③ 2 階ホールの貸出しでは、会議室の使用の際大音量の音楽を流す利用団体が増え 1 階まで音が響いて他の利用者から苦情等もあることから、土木事務所と協議の結果、「利用上

の注意及び遵守事項」を定め他の利用者に迷惑をかけない節度ある使用をお願いしています。

- ④ スロープ、センタープロムナード、ハウスベランダ等複数個所に発生しているコンクリート地面の剥離部分は、自社作業で迅速な修復、車椅子利用のかたや杖歩行のかたには不便であったセンタープロムナード入口の砂利敷き部分についても自社作業でコンクリート舗装を施しました。

#### イ 災害時対応業務等

- ① 地震・津波等の発生時には、弊社が作成した「災害時行動マニュアル」に則った対応を行うこととして、災害発生に備えています。
- ② 台風等により施設被害が予測される場合は、「災害時行動マニュアル」に基づく予防行為として、職員による場内点検を強化し、陸置艇、係留艇のロープ補強等を行うなど被害の防止に努めるとともに、大型の台風等により強風が予測されたケースでは状況改善まで職員が待機し、不測の事態に備えました。
- ② 利用者やヨットハウスのテナントにも参加を促し、自主消防訓練を実施。また、当社も会員である江の島防災対策協議会主導の津波避難訓練にも積極的に参加しました。

#### (4) 附帯事業等に係る総括

##### 提案事業

- ① 利用者利便事業として、レンタル自転車を設置し、前年度利用料は「神奈川海岸美化財団」に寄付しています。
- ② オリジナル商品の前年度売上の一部は「青い羽根共同募金」に寄付しています。
- ③ 東京 2020 公式グッズを販売し、オリンピックムードを高めるとともに、国際的な大会等で来日している各国選手からも好評を博しています。

#### (5) 開かれた港湾に向けての取組に係る総括

##### ア 開かれた港湾に向けたイベント実施結果

- ① 関係団体、NPO法人等が実施するイベントについて、その内容が開かれた港湾に向けて資するものについては、できるかぎり協力しています。  
特にNPO法人セイラビリティ江の島と連携し、障害の有無や年齢に関わらず安心して乗船できるハンザクラスのヨットを使用する体験乗船を実施しています。
- ③ 江の島（湘南港）みなとまちづくり協議会主催の、ハーバーフェスティバルや江の島天王祭の神輿海上渡御を海から見るイベントには、今年度も体験乗船の抽選や当日の事務局として積極的に携わり、また実施にあたり、弊社レスキュー艇による体験乗船や観覧艇の運行などの協力をしました。
- ③ かながわシープロジェクト「Feel SHONAN」の一環である「Enjoy 海 KANAGAWA」には、葉山・逗子・江の島間のクルーズ船の受け入れで参加いたし

ました。また、同じくシープロジェクトのプログラムである海上タクシー実証実験についても離発着場所を調整し、当日は受付場所を提供する等積極的に協力いたしました。

- ④ 東京 2020 オリンピック競技会のセーリング競技会場周辺を花と緑で飾り、世界中から訪れる人々を歓迎するためのボランティア団体である「なぎさフラワーサポーター」による植栽事業として、「2020」の文字型ウェルカム花壇を作り、来港者へのおもてなしに貢献しています。

#### イ 利用促進・広報

以下のとおり積極的に利用促進と広報に努めています。

- ① 江の島ヨットハーバーを会場とする主要なヨットレース大会を後援、協賛するとともに、優勝杯（SNP杯）を贈呈する等、ヨット活動の振興とハーバーの利用促進に努めています。
- ② 江の島ヨットハーバーのホームページで出艇状況や気象情報を提供するなど、広報に努めています。また、臨時・緊急情報などをリアルタイムで利用者に発信する「メーリングサービス」を提供しています。
- ③ ヨットハーバー、緑地等における撮影の利用希望が多々あります。湘南港の広報にも資することから、藤沢市フィルムコミッションと連携して、施設利用者の個人情報保護に配慮しつつ、受け入れを進めています。
- ④ 藤沢市民マラソンの受入れは恒例化し、事務局と連携しながら、湘南港利用者との融合を図れるよう調整し、円滑な大会運営に協力しました。

## 2 指定管理料等執行状況報告書

別添のとおりです。